



「名古屋の棚田で相模原の子どもたちの自然観察会」(2018年8月20日)

連絡先



【担当者】片桐 務

【住所】秦野市東田原 200-49

【電話】


【FAX】0463-83-7355

【メール】yumekoubou-t@nifty.com

団体名称	丹沢けものみちネットワーク
設立目的	ニホンジカを始めとする丹沢の生き物の視点から丹沢の自然環境保全、再生に資するための調査、実践、普及啓発を行う。 【設立年月日】平成8年7月
会員構成等	【代表者】 - 【会員数】 約10名 【ホームページ】 -
活動内容	<p>【ニホンジカの生息密度調査】(継続調査)</p> <p>丹沢山地東部に位置する札掛において、1998年以降、毎年2回札掛地区において区画法によりシカの生息密度調査を継続的に行っており、2018年度は4月1日、12月2日に調査を実施した。</p> <p>【生息動向調査】</p> <p>1998年以降シカの生息密度調査を継続的に行っているが、2007年度以降、札掛地区においても、県によるシカの管理捕獲が実施されており、部分的に林床植物の成長が見られている。</p> <p>しかしながら、当該地域のシカの生息状況の季節変動についての把握は不十分な状況であることから、自動撮影カメラを設置し、シカの撮影頻度から、生息状況の季節変動に関する情報を把握した。</p> <p>(活動状況写真：自動撮影カメラで撮影した写真)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
連絡先	<p>【担当者】岩岡 理樹</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】 tad-iwaoka@qq7.so-net.ne.jp</p>



団体名称	丹沢ブナ党
設立目的	<p>ブナを象徴とする丹沢の自然を守るための実践的な活動に取り組むことを目的とする。</p> <p>【設立年月日】 1990年11月3日</p>
団体情報	<p>【代表者】 梶谷 敏夫</p> <p>【会員数】 90名</p> <p>【ホームページ】 <a href="http://tanzawabunato.web.fc2.com/">http://tanzawabunato.web.fc2.com/</a></p>
活動内容	<p>1. シカ糞採取</p> <p>丹沢のニホンジカの食物状況を調べるためのシカ糞採取を、1年間で31回実施、檜洞丸、箒沢、丹沢湖北東岸ライン、塔ヶ岳、岳ノ台、名古屋ライン、及び切通峠の7ヶ所において、季節毎に採取しました。</p> <p>高槻成紀先生が分析、まとめてくださった結果、丹沢のニホンジカの餌状況が極めて厳しい状況、他地域と比べてかなり特異な状況にあること等が判明しました。</p> <p>2. ブナ林方形区調査、ブナハバチ被害状況調査の実施</p> <p>前年からのひき続きのブナ林方形区調査、ブナハバチ被害状況調査に取り組みました。実生は少なかったです。ハバチの被害は少なかったです。</p> <p>3. 秦野市峠地区大規模霊園開設計画問題への対応</p> <p>霊園工事が完成。横浜弁護士会自然保護部の弁護士3人を案内し現状の説明を行いました。また、「渋沢丘陵歩きたい」で、周辺の残された貴重な自然を観察しながら、完成した霊園の実態をしっかりと見ました。</p> <p>オオムラサキの越冬幼虫の発生複数も漸減しました。</p> <p>4. 八国見山チョウ観察会</p> <p>八国見山一帯におけるチョウ観察会で、たくさんのオオムラサキを見ることができました。ここ数年、オオムラサキの姿を見ることができず、このままじり貧になってしまうのかと、思っていました、良かったです。</p> <p>5. ツキノワグマの痕跡調査、餌植物調査の実施</p> <p>白石峠から畔ヶ丸、金毘羅尾根からネクタイ尾根で実施しましたが、痕跡は確認できませんでした。</p> <p>6. 他団体との交流</p> <p>富士ゼロックス端数倶楽部、小田原山盛りの会、塚原の雑木林を守る会との交流を行いました。</p>
連絡先	<p>【担当者】 梶谷 敏夫</p> <p>【住 所】 横浜市港北区箕輪町3-3-8</p> <p>【電 話】 045-563-3953</p> <p>【F A X】 045-563-3953</p> <p>【メール】 bunato-kazitani@mub.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	西丹沢の自然にふれあう会
設立目的	西丹沢・北丹沢計6箇所の避難小屋およびその往復登山道の清掃活動をするため 【設立年月日】2000年6月25日
団体情報	【代表者】多田慎一 【会員数】33名 【ホームページ】-
活動内容	<p>平成30年度の活動概略</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月一回の例会を計8回実施。内容は2箇所の避難小屋や西丹沢を主とした登山道の清掃活動など（写真は平成30年4月例会 高松山で） 参加者延べ98人、回収ゴミ21kg。</li> <li>・他にも会員有志による清掃登山が数回</li> <li>・西丹沢山開きに登山者代表として参加</li> <li>・ボラネット関連では水質検査採水の分担、堂平ネット巻き参加など</li> </ul> 
絡先	<p>【担当者】沼野正睦</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】mnumano@jcom.home.ne.jp</p>



団体名称	蛭ヶ岳山荘委員会
設立目的	<p>神奈川県より譲渡された、民間経営の山小屋としてお客様が快適に過ごせる山小屋を目指して営業努力している。山岳愛好者を中心とする一般登山者に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立年月日】 1998年 4月 1日</p>
団体情報	<p>【代表者】 杉本 憲昭</p> <p>【会員数】 蛭ヶ岳山荘友の会70名</p> <p>【ホームページ】 <a href="http://kitatan.com/hirutop">http://kitatan.com/hirutop</a></p>
活動内容	<p>4月 10日 春・夏用の物資荷上げ 北丹沢山開きに合わせ山頂での清掃活動（登山者への呼びかけ）</p> <p>5月 登山道利用実態調査協力、丹沢大山流域の水質調査に協力</p> <p>9月 蛭ヶ岳山頂の土砂流失による埋立ゴミ（缶・ビン等）清掃</p> <p>10月16日 秋・冬用の物資荷上げ</p> <p>11月17日 神ノ川ヒュッテ周辺の清掃活動</p> <p>活動場所 北丹沢山域（特に蛭ヶ岳、神の川乗越、姫次を中心とした地域）</p> <p>蛭ヶ岳山荘友の会会長 東城 進紀</p>
連絡先	<p>【担当者】 杉本 憲昭</p> <p>【住 所】 相模原市緑区小淵1545-1</p> <p>【電 話】 042-687-4011</p> <p>【FAX】 042-687-3980</p> <p>【メール】 kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	NPO 法人 みろく山の会
設立目的	健全かつ安全な登山、ハイキングに対する事業を行いスポーツの振興に寄与する目的で設立されました。 【設立年月日】1983年4月設立。2000年3月山岳会として全国で初めてNPO法人として認証を受けました。
団体情報	【代表者】十倉 昭雄 【会員数】751名（2018年3月末） 【ホームページ】 <a href="http://www.mirokuyamanokai.org/">http://www.mirokuyamanokai.org/</a>
活動内容	<p>会山行は月50回以上で年間700回以上を、160名のリーダーで初心者から経験者までが参加できる山行を計画しています。近郊の公園歩きをはじめアルプスなどの山行から沢登りやクライミング、スキー及び海外登山まで多様な山行を実施し、延べ9千人以上が参加しています。</p> <p>当会の三大大行事として年一回の総会・みろく祭り・清掃登山活動があります。その中で自然保護活動の一環として実施している、清掃登山活動は会創立以来継続して取り組んでおり、今年度第36回目を2018年5月12日にクリーンキャンペーンとして大倉周辺の10コースに会員190名が参加して、ゴミ358.5kgを収集しました。</p> <p>丹沢大山再生計画の第一期から行っている大倉尾根の県民協働型登山道補修は毎月一回10名程度が参加し、登山道の老朽化した階段や水切りの補修を行っています。</p> <p>森づくりは2haのやどりき水源林で年数回の草刈りと2017年度まで毎年100本以上の広葉樹5種類以上の植樹をして来ましたが、今年度は間伐や移植を中心に行いました。</p> <p>また、3月から11月まで丹沢の植物観察も行っています。</p>
連絡先	<p>【担当者】河野知典</p> <p>【住 所】横浜市西区平沼1-1-11-202</p> <p>【電 話】045-317-2369（平日12:00-17:00）</p> <p>【F A X】045-317-2365</p> <p>【メール】sizenhogo-bu@mirokuyamanokai.org</p>





2018年5月 清掃登山活動集合写真



2018年11月大倉尾根登山道補修活動



2018年6月やどりき森づくり活動（移植）



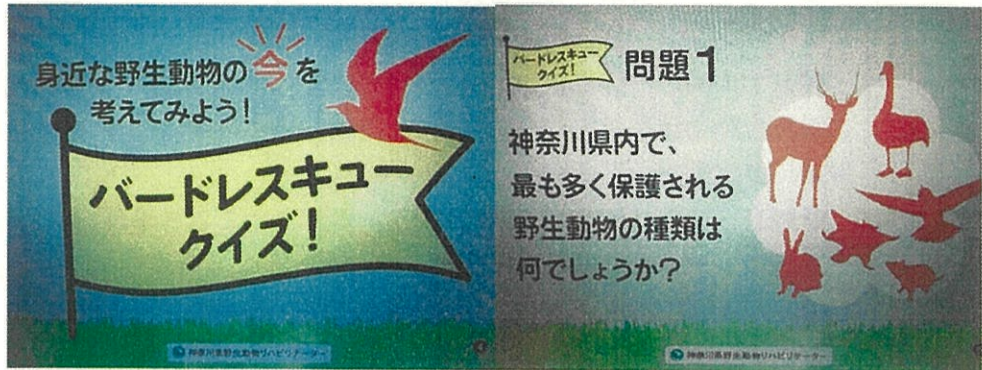
2018年9月やどりき森づくり活動



2018年5月清掃登山活動（ゴミ計量）

団体名称	NPO 法人 野生動物救護獣医師協会神奈川支部 (WRV 神奈川支部)
設立目的	野生動物の救護活動を通じ、神奈川県における自然環境保全に寄与することを目的とする 【設立年月日】平成15年7月5日
団体情報	【代表者】皆川康雄 【会員数】約10名 神奈川県野生動物リハビリテーター認定者：約80名 【ホームページ】 <a href="http://www.wrv-kanagawa.net/">http://www.wrv-kanagawa.net/</a> 【Facebook ページ】 <a href="https://www.facebook.com/wrv.kanagawa">https://www.facebook.com/wrv.kanagawa</a>
活動内容	丹沢大山の自然環境保全に直接かかわる活動は特にはないが、県内の野生動物救護施設を中心に県内全域で以下の活動をしました。  ①傷病野生動物の救護と野生復帰 ②傷病野生動物の救護に従事できる専門的なボランティア『神奈川県野生動物リハビリテーター』を県の協力を得て養成及び資格認定 認定された野生動物リハビリテーターは、県自然環境保全センター、横浜市立動物園（野毛山・金沢・よこはま動物園ズーラシア）及び川崎市立夢見ヶ崎動物公園にて活動 ③大学や専門学校を対象に野生動物リハビリテーター人材の育成のための専門家教育 ④次代を担う子どもたちに生命や自然の大切さ、人と野生動物との共生のための環境教育 ⑤県民に野生動物救護に対する理解を深めてもらうための普及啓発 ⑥救護原因の究明や予防対策のための調査研究





『かながわボランティアフェスタ』に参加した時の一コマ。怪我してしまう野生動物の現状や怪我した野鳥を見つけた際の対処法をクイズ形式でわかりやすく解説した。

連絡先

【担当者】 皆川康雄

【住 所】 〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋 5-17-5 皆川ハイツ 102

【電 話】 045-548-4744

【F A X】 045-548-4745

【メール】 kanagawa@wrvj.org

団体名称	かながわ野生動物サポートネットワーク
設立目的	傷病、他、さまざまな理由で人間の手の中に入ってくる野生動物から、その背景にある真の問題を探り、折り合いの着地点や解決法を考えるなどの活動を行っています。実際の救護、救護アドバイス、啓発普及活動のほか、多くの団体、個人のネットワークを活かし、神奈川野生動物救護連絡会（救護連）の構成団体として WRV 神奈川支部、神奈川県野生動物リハビリテーター、その他有志の方々と連携した活動も行っていきます。【設立年月日】平成10年4月1日
団体情報	【代表者】葉山 久世 【会員数】現在会員募集なし。プロジェクトごとに有志で運営するスタイル
活動内容	かながわ野生動物サポートネットワークとして <ul style="list-style-type: none"> <li>●野生動物対策の委員会委員（カワウ、外来生物）</li> <li>●サギの糞・鳴き声被害対応（南足柄市）</li> <li>●日本獣医師会 野生動物救護対策の在り方検討小委員会 専任委員 委員会の報告書「保全医学の観点から踏まえた野生動物対策の在り方」編集</li> <li>●御蔵島のノネコ調査、オオミズナギドリ保全への協力</li> <li>●アライグマ対策 普及啓発</li> </ul> カナダガン調査グループのメンバーとして <ul style="list-style-type: none"> <li>●富士山周辺の野生化カナダガン（モニタリング調査・普及啓発）</li> <li>●野生動物救護相談（内容：保護の判断、給餌方法、拾得死体の扱いなど）</li> </ul> 神奈川野生動物救護連絡会のメンバーとして <ul style="list-style-type: none"> <li>●野鳥への釣り針・釣り糸被害防止、海ゴミによる野生動物への被害防止（普及啓発：ジャパンバードフェスティバル、さがみ自然フォーラム）</li> <li>●トビ被害の防止（予防のための普及啓発：金沢いきいきまつり、藤沢市環境フェア、長浜公園感謝 DAY、さがみ自然フォーラム）</li> </ul>
連絡先	【担当者】葉山久世 【住所】 【電話】0463-93-6589 【FAX】同上 【メール】 <a href="mailto:pcv@nifty.com">pcv@nifty.com</a>



団体名称	町田グラウス山の会 ( 日本勤労者山岳連盟所属 )
設立目的	ハイキング、山岳スキー、自然保護活動などを行う地域山岳会。  【設立年月日】1984年1月
団体情報	【代表者】前川 秀幸 【会員数】176名 【ホームページ】 <a href="http://machida-grouse.com/">http://machida-grouse.com/</a>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹沢だけではなく、国内外の山岳での登山活動。</li> <li>・4月22日(日)、丹沢山開き式への参加と、三ノ塔尾根での植物観察会を実施。参加者は12名。今年は、開花時期が早く、牛首のヒメウツギが満開。</li> <li>・5月27日(日)に障害者との交流ハイキングを震生湖で実施した。会員・家族89名、車椅子利用者9名、総勢134名が参加。スイカ割り、合唱などで交流を深めた。</li> <li>・早戸川上流の魚止めの森の植樹地の手入れ作業と植樹活動を秋に実施する予定だったが、台風の影響で林道が通行止めになってしまったため中止。</li> <li>・10月28日にヤビツ峠周辺でクリーンハイク(清掃登山)を実施。参加者48名。可燃ごみ228.3kg、不燃ごみ422.0kgを回収。</li> </ul>
連絡先	【担当者】安田 優 【住所】 【電話】 【FAX】 【メール】m_and_e_yasuda@yahoo.co.jp

団体名称	NPO法人伊勢原森林里山研究会
設立目的	伊勢原市内の森林及び里地の自然環境保全と農林産物の有効活用促進に関する事業を行い、環境の保全を図る  【設立年月日】 平成17年4月6日（登録年月日）
団体情報	【代表者】 山口 寿則 【会員数】 22人 【ホームページ】 <a href="http://www.iif-isehara.com">http://www.iif-isehara.com</a>
活動内容	地球温暖化防止に関わる森林の機能は特に温室効果ガスの吸収源として我が国における京都議定書の第2約束期間で約7割を担っています。森林保全再生活動はこの点からも非常に重要な役割を担っています。 <b>森林保全再生事業</b> 石雲寺の森混交林化に向けたパッチ状皆伐・植樹→稚樹保護・軽量堅牢獣害柵敷設による林床植生保護→3年後の柵開閉によるニホンジカ生息環境づくりを整備し野生動物との共生を探る。 <b>里地の遊休水田・畑地の保全再生</b> 竹堆肥による稲作、雑穀、野菜の固有種育成による地域農業の再生 <b>調査研究事業</b> 植生保護柵開閉によるニホンジカ進入行動調査 下層植生の牧養力調査 <b>農林産物の有効活用と地域再生</b> 石雲寺の森間伐材の搬出とログデッキ制作による二酸化炭素固定促進 広葉樹伐採と有効活用による原木キノコ栽培の試作と普及 <b>その他の事業</b> 都市と中山間地の交流事業（子育て支援の後方支援 植樹祭 彼岸花まつりへの参加 民俗行事「虫おくり」の復活を通じた協議会設立支援）
連絡先	【担当者】 山口 寿則 【住 所】 伊勢原市伊勢原 1-16-4 【電 話】 【FAX】 【メール】 <a href="mailto:info@iif-isehara.com">info@iif-isehara.com</a>



団体名称	NPO法人丹沢自然学校
設立目的	<p>丹沢地域に暮らす人々及び丹沢地域を訪問する人々に対して、相互の交流を促進すると共に、丹沢地域の自然、文化の普及、啓発に関する事業を行い、丹沢地域の自然環境及び地域文化の保護、保全に寄与することを目的とする。</p> <p>2009年4月23日NPO法人として設立(2007年3月3日任意団体として発足)</p>
団体情報	<p>【代表者】 理事長 五十嵐聡</p> <p>【会員数】 18名</p> <p>【ホームページ】 <a href="http://www.tes21.org">http://www.tes21.org</a></p>
活動内容	<p>私たちは西丹沢を中心に、丹沢の自然や文化を体験するエコツアー・プログラムを企画・実施しています。</p> <p>30年度は、10回のエコツアーを実施し、延べ75名の方にご参加いただきました。下記にその一部を紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全身に水を浴びて西丹沢の源流の沢をさかのぼる「シャワークライミング」。滝を登って淵で泳ぎ、水生生物を探し、湧き水を味わう。夏休みの土日限定、丹沢自然学校で最も人気があり、私たちも力を入れているプログラムです。</li> <li>・「ヒミツの丹沢探検部」 丹沢自然学校スタッフのとおきおきのマイナーコースを歩くイベント。「参加者全員がガイド」を合言葉に、誰かが引率するガイドツアーではなく交流登山として実施しています。今年は2回企画しましたが1回中止、秋に丹沢堂平で実施しました。</li> <li>・「丹沢山麓で砂金探し」 丁寧に泥を流していくと、きらりと光る一粒を発見！一獲千金！…は無理ですが、なぜここに金が出るのか、丹沢の成り立ちからさぐる学びも交えたエコツアーです。</li> <li>・丹沢山麓の暮らし体験のプログラム「里山時間」 今年是小正月のだんご焼きを体験していただきました。丹沢山麓・上秦野の自然に根ざした伝統文化と、火のある暮らしの楽しさを実感していただけたと思います。</li> </ul> <p>エコツアー以外のボランティア活動としては、西丹沢の植生の状況を追跡調査する定点撮影調査を22年度から行っています(29年度からは丹沢山でも実施)。丹沢の林床植生の衰退や立ち枯れの経年変化を追ってきましたが、今年は植生が回復している現場も確認することができ、スタッフも参加者もあらためて丹沢の自然再生を考える機会になっています。</p> <p>地域への貢献としては、秦野丹沢まつりの山開きイベントにガイドとして協力しました。また秦野市郊外の小学校で、野生動物調査の出張授業(総合学習の事業)を2回実施しました。</p> <p>なお、定点撮影調査と野生動物調査については、丹沢の緑をはぐくむ集いのボラネット助成金を活用して実施しています。</p> <p>これらの活動を通じ、多くの方に丹沢の自然や文化を知っていただき、丹沢の自然のために行動する輪が広がっていくことを願っています。</p>



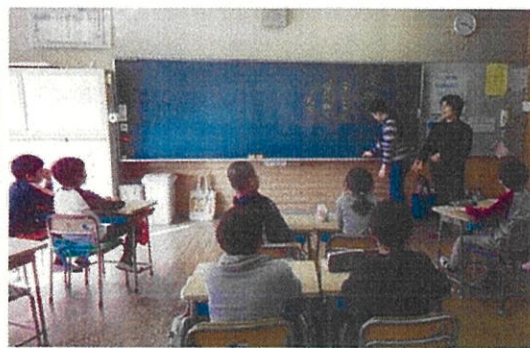


シャワークライミング（西沢）

小正月の団子焼き体験ツアー（上秦野）



林床植生の定点撮影（檜洞丸） 左：2010年9月、右：2018年9月  
植生が回復傾向にあることがわかる。



野生動物調査隊（秦野市立上小学校での特別授業として実施）

連絡先

【担当者】

【住所】 秦野市八沢 76-5

【電話】 080-5528-1491

【FAX】 0463-57-2967

【メール】



団体名称	特定非営利活動法人 野生動物救護の会
設立目的	野生動物の保護及び救護に関わる活動を通じて、自然環境と生物多様性の保全に貢献することを目的とする。 モットーは「一頭一羽でも多くの野生復帰を目指して！」 【設立年月日】平成18年10月2日
団体情報	【代表者】渡辺 優子 【会員数】約90名 小学生から年配者まで幅広い会員 【ホームページ】 <a href="http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp">http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp</a>
活動内容	<p>基本は神奈川県自然環境保全センターにおける野生動物救護ボランティアとしての活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～6月30日ブナの森ギャラリー展示「羽根標本」</li> <li>・5月13日「誤認保護防止キャンペーン」開催</li> <li>・6月2・3日「平成30年度野生動物救護ボランティア講習会」開催</li> <li>・6月16日痕跡調査講習会開催</li> <li>・7月9日七沢里山サミット参加</li> <li>・8月11日第8回夏休み子ども体験教室「野生を学ぶ」開催</li> <li>・9月30日「平成30年度野生動物救護ボランティア修了式」開催</li> <li>・11月3日はだの市民祭りパネル展示参加</li> <li>・12月8日傷病舎大掃除&amp;豚汁大会開催</li> <li>・12月11日～3月31日まで羽根標本展示：神奈川県の市町村のシンボルボード</li> <li>・12月15日丹沢大山自然再生活動報告会ポスター展示参加</li> <li>・2月7～11日さがみ自然フォーラムパネル展示参加</li> <li>・3月30日春休み子ども体験教室開催（予定）</li> </ul> <p>通年調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「足環プロジェクト」</li> <li>・秦野市立図書館衝突調査及び死亡個体の解剖検証</li> <li>・フクロウなどの巣箱調査</li> <li>・神奈川県自然環境保全センター野外施設及び傷病鳥獣舎周辺での「野生動物痕跡調査」</li> </ul> <p>そのほか羽根標本作成や探鳥会などを行っている また、会報誌RUNNER発行やブログ更新（随時）も行っている</p>
連絡先	<p>【担当者】渡辺 優子</p> <p>【住所】神奈川県秦野市戸川 1086-4</p> <p>【電話】0463-75-1830</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp</p>



夏休み子供体験教室



はだの市民祭り



痕跡調査講習会



大掃除&豚汁大会



団体 名称	湘南自然観察クラブ
設立 目的	自然観察を通して環境保全をめざしたい 【設立年月日】平成22年12月
団体 情報	【代表者】田中 幸雄 【会員数】 8名 【ホームページ】-
活動 内容	<p>月1回 県央・湘南・西湘・横浜地区をベースにいろいろな方との交流を兼ねて動植物の観察会を行っています。</p>  <p>自然保全センターにおいてミニ観察会の実施</p>   
連絡 先	<p>【担当者】石山 浩恵</p> <p>【住 所】</p> <p>【電 話】 045-301-9617</p> <p>【FAX】 同 上</p> <p>【メール】 stone-mountain@jcom.home.ne.jp</p>

### Ⅲ 世話人会の活動報告



## 平成30年度世話人会の活動報告書

### 1 世話人会の開催

#### (1) 第1回

実施日 平成30年6月6日(水)

場 所 自然環境保全センター

出席者 6名

内 容 ①講演会 ②夏休み親子自然探検隊 ③瓦版の発行

#### (2) 第2回

実施日 平成30年6月27日(水)

場 所 自然環境保全センター

出席者 11人

内 容 ①夏休み親子自然探検隊 ②外来種調査

#### (3) 第3回

実施日 平成30年9月5日(水)

場 所 自然環境保全センター

出席者 8人

内 容 ①外来種調査 ②水質調査結果報告 ③夏休み親子自然探検隊結果報告

#### (4) 第4回

実施日 平成30年12月5日(水)

場 所 自然環境保全センター

出席者 6名

内 容 ①平成31年度事業計画 ②講演会 ③世話人会の改選

#### (5) 第5回

実施日 平成31年3月6日(水)

場 所 自然環境保全センター

出席者 12名

内 容 ①世話人の改選 ②平成31年度総会の事業計画  
③講演会 ④登山者意識調査

## 2 関係団体との協働

丹沢大山ボランティアネットワークから世話人会代表が各委員会へ出席

### (1) 緑を育む集い実行委員会

日 時 平成30年5月18日(金)

会 場 自然環境保全センター

内 容 ①平成29年度事業報告・決算報告について  
②平成30年度事業計画・予算について

### (2) 丹沢大山自然再生委員会・第30回普及啓発検討部会

日 時 平成30年4月25日(水)

会 場 万国橋会議センター

内 容 ①平成30年度県民事業専門部会事業計画案・予算案について  
②「地球環境イベント・かながわエコ10フェスタ2018」について  
③「第62回秦野丹沢まつり」に関する結果について  
④その他

### (3) 丹沢大山自然再生委員会(平成30年度総会)

日 時 平成30年6月29日(金)

会 場 神奈川自治会館

内 容 ①平成29年度事業実績・決算について  
②平成30年度事業計画・予算について  
③各専門部会からの報告・提案について  
④丹沢大山自然再生活動報告会について  
⑤丹沢大山自然再生事業成果報告  
④ その他

### (4) 丹沢大山自然再生委員会・第31回普及検討部会

日 時 平成30年8月30日(木)

会 場 万国橋会議センター

内 容 ①地球環境イベント・かながわエコ10フェスタ2018への出店結果について  
②ワールドフェスタ・ヨコハマ2018への出店について  
③「第63回秦野丹沢まつり」への出店について  
④その他



(5) 丹沢大山自然再生委員会 報告会実行委員幹事会

日 時 平成30年9月14日(金)

会 場 日本大学生物資源科学部 藤沢校舎

内 容 ①丹沢大山自然再生活動報告会の企画、内容検討  
②その他

(6) 丹沢大山自然再生委員会 ワールドフェスタ・ヨコハマ2018への出店

日 時 平成30年10月7日(日)

会 場 横浜公園

内 容 ①丹沢再生への啓発活動  
②丹沢の自然環境を知らせる。  
③アンケート活動と募金運動  
④その他

(7) 丹沢大山自然再生委員会

2018年度・丹沢大山自然再生活動報告会

日 時 平成30年12月15日(土)

会 場 日本大学生物資源科学部 藤沢校舎 1号館・2号館

内 容 ①基調講演「丹沢山地におけるブナ林の衰退と再生に関する一連の研究」  
②研究・実践活動報告と活動報告セッション  
③その他

(8) 丹沢大山自然再生委員会 第18回県民事業専門部会

日 時 平成31年3月13日(水)

会 場 万国橋会議センター

内 容 ①県民事業専門部会長、及び副部会長の改選について  
②平成30年度事業の実施結果と平成31年度事業計画について  
③イベント等活動の共催、後援の対象案件の整理について  
④その他

(9) 丹沢大山自然再生委員会 秦野丹沢まつり作業部会

日 時 平成31年3月27日(水)

会 場 万国橋会議センター

内 容 秦野丹沢まつり出店計画

# 丹沢大山ボランティアネットワーク会則

## (名 称)

第1条 本組織は、丹沢大山ボランティアネットワーク(以下「ネットワーク」という。)と称する。

## (目 的)

第2条 ネットワークは、丹沢大山で自然環境に関する活動を実践しているボランティア団体の自主的な連携を図り、行政とのパートナーシップのもとで丹沢大山の自然環境の保全に関する活動の推進を図ることを目的とする。

## (会 員)

第3条 会員は目的に賛同するボランティア団体により構成する。

2 入会及び退会は、所定の書面による届け出とする。

## (活動内容)

第4条 ネットワークは、次の活動を行う。

- (1) ネットワークづくりの推進に必要な活動の実施
- (2) 会員への情報提供および会員相互の情報交換の推進
- (3) その他、ネットワークの目的に合致する活動

## (世話人会)

第5条 ネットワークの運営のため、世話人会を設ける。

- 2 世話人は総会によって選出し、5名程度とする。
- 3 世話人会に代表1名と、副代表1名を置き、選出された構成員の中から互選により定める。
- 4 世話人会は代表が招集し、議長となる。
- 5 副代表は代表を補佐し、代表に事故ある時は、その職務を代行する。
- 6 世話人の任期は2年とする。ただし、再選は妨げない。
- 7 世話人会は、必要に応じ開催する。

## (世話人会の職務)

第6条 世話人会は次の事項を行う。

- (1) 会員間の連携の推進に必要な連絡、調整
- (2) 各種情報の収集、分析
- (3) 行政とのパートナーシップの推進のため必要な神奈川県自然環境保全センターとの協議
- (4) 総会に付議する議案に関すること。
- (5) その他、ネットワークの運営のため必要な事項

## (総会)

第7条 総会は、世話人会代表が召集する。

2 総会は、年1回以上開催する。



- 3 議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 4 議決権は1団体で1票とする。

(事業年度)

第8条 事業年度は、4月1日から翌年3月31日迄とする。

(会費)

第9条 会費は毎年4月1日から翌年3月31日迄の1年間とし、年間2,000円とする。

(庶務)

- 第10条 丹沢大山ボランティアネットワークの必要とする費用は、会費および助成金、その他の収入をもってこれに充当する。
- 2 会計担当者を2名以内置く。
  - 3 監事を2名置き、会務および会計を監査する。
  - 4 ネットワークの庶務は、当分の間、神奈川県自然環境保全センターが協力して行う。

(その他)

第11条 この会則に定めるものの他、ネットワークの運営に必要な事項は、世話人会で協議して定める。

- 附則
- 1 この会則は、平成14年8月4日から施行する。
  - 2 この会則は、平成15年4月5日から施行する。
  - 3 この会則は、平成19年4月8日から施行する。
  - 4 この会則は、平成20年4月6日から施行する。

# 丹沢大山ボランティアネットワーク入会届

平成 年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク  
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークに入会しますので、入会届を提出します。

団 体 名  
住 所 〒  
代表者 氏名  
" 住所 〒  
担当者 氏名  
(連絡先) 住所 〒  
" 電話  
" ファックス  
" E-mail

## 団体の概要記入欄

設立時期	
会員数	
会報	<input type="checkbox"/> あり(名称: ) <input type="checkbox"/> なし
ホームページ	<input type="checkbox"/> あり(アドレス: ) <input type="checkbox"/> なし
保全活動に関するキーワード	<input type="checkbox"/> 美化活動 <input type="checkbox"/> 植樹、森林の育成 <input type="checkbox"/> 調査(内容: ) <input type="checkbox"/> 普及啓発(内容: ) <input type="checkbox"/> その他(内容: )
活動の概要	   主な活動地域 ( )
自由記載欄	
連絡方法	<input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ファックス <input type="checkbox"/> E-mail

注 1 該当する□にチェックをしてください。

2 内容については、丹沢大山保全活動ホームページに掲載します。



# 丹沢大山ボランティアネットワーク退会届

平成 年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク  
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークを退会しますので、退会届を提出します。

団	体	名
住		所
代表者		氏名
〃		住所

退会理由：

編集・発行

神奈川県自然環境保全センター

厚木市七沢657

電話 046-248-0323